

「もえぎの会」並びに「後援会」のご発展を願って

目黒区議会議員
田島 けんじ



野村理事長をはじめ、「もえぎの会」の皆様、そして沼野会長をはじめ、「後援会」の皆様におかれましては、日頃から障害をもつ方々の多様なニーズに応え、地域での活動、就労、生活などを支援するために、地域との交流を図りながら、様々な取り組みを展開されておりますことに、厚く御礼申し上げます。

また、「しいの実社」への入所を希望される方々の要請に応えるために、今年度から定員を50名から56名に増員して、さらに支援の充実に取り組んでおられますことに、心から敬意を表したいと存じます。

「しいの実社」の作るクッキーやパン、工芸品は、その高い品質が多くの方から支持されております。総合庁舎1階ロビーで出張販売する日は、多くのファンの方々が行列をつくり、購入している姿を拝見いたします。私も「しいの実社」のクッキーのファンの一人でございます。

一方、厳しい経済状況の中、運営面におきましては、皆様のご苦勞は大変なものかと推察いたします。施設利用者を支援するために、高い志を持って日々の活動に取り組まれている皆様には、本当に頭の下がる思いでございます。皆様の掲げる「自助自立」の精神のもと、困難を乗り越え、活動が一層充実されますことを心より願っております。

目黒区議会といたしましても、障害をもつ方々が、地域における活動や就労をしながら、安心して生活していけるよう、行政と共に福祉の充実、発展に努めてまいりたいと存じます。

結びに、これまで「もえぎの会」の活動を温かく見守っていただきました地域の皆様に、あらためて感謝申し上げますとともに、「もえぎの会」並びに「後援会」の今後の益々のご発展と、皆様のご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

第14回しいの実祭のお知らせとお願い

今年は、11月28日(土)開催予定で、恒例の後援会のバザーも企画しています。献品に、ご協力をお願いいたします。

11月20日(金)までに、ご連絡をお願いします。ただし、下記のものはお預かりできませんのでご了承ください。

- ・ 賞味期限の切れた食品
- ・ 古本、日本人形の類、不揃いの食器、大量の古着

(献品の連絡先： しいの実社 ☎

03-5724-7153 岡田)

沢山の方に参加して頂き、感謝の気持ちを表すような企画を進めています。来場された方が笑顔になる…心温まるお祭を目指します。

施設のスペースが限られており、平素よりお世話になっております隣の白川電機製作所さん、平研磨工業所さん、五十嵐電機製作所さんの場所をお借りして、ますます盛り上げるように、みんなで張り切って準備しています。



もえぎの会事業報告会、後援会総会 開催

恒例のもえぎの会事業報告会、後援会総会を、7月11日(土)に目黒区合同庁舎大会議室において開催しました。昨年より2週間早く、天気にも恵まれ、汗ばむ陽気となりました。振り返ってみると、大会議室を利用した事業報告会は、10回目となり、準備などもスムーズに行われました。来てくださった方へのお土産を早く来た利用者とスタッフが協力して袋詰めしました。行政、議会、福祉団体などの関係者、後援会の皆様、ボランティア、利用者、ご家族、スタッフなど160名を超える参加でした。

最初に後援会総会を行い、事業報告、決算に引き続き、事業計画、予算を承認していただきました。今年度は、後援会会員の方の参加も増え、後援会の活動、また、もえぎの会との関わり、地域に根ざした活動などを改めて知っていただける機会となりました。

引き続き、事業報告会を行い、理事長の挨拶、来賓を代表して青木英二目黒区長に祝辞をいただき、もう1名予定の鈴木隆道都議会議員は公務により欠席でしたが祝電をいただき、披露させていただきました。次に、パワーポイントにより、「もえぎの会 活動報告」を行いました。2015年度は、法人として「大胆な挑戦」を年度のテーマにし、現状に留まらずに、障害のある方の生活が充実できるように、地域で活動することを報告しました。今年度は、もえぎの会后援会が設立10年となり、設立当初からもえぎの会役員として活躍していただいている



特別表彰 後援会役員

沼野嗣男後援会会長、林信義後援会副会長、清水美知雄後援会名誉会長を表彰し、感謝状を贈りました。

また、常勤スタッフとして初めて定年を迎え、パン部門の発展に貢献した吉岡定男氏を表彰しました。その後、田島憲二区議会議員による区議会議員の紹介、乾杯のご発声で、懇親会が始まりました。料理は、しいの実社がランチでお世話になっている後援会会員の葉隠勇進に担当していただきました。来賓の方や後援会の会員の方、スタッフ、家族、利用者など、初めての



料理を楽しむ



音楽を楽しむ社員のみなさん

参加者なども見られ、名刺交換をはじめましての挨拶など新たな協力者づくりや顔の見える関係づくりができました。料理は、おそばやごはん類、お肉に前菜、デザート、コーヒーと楽しんでいただきました。途中で、野村理事長の指名により、お世話になっている方や初めて参加した後援会会員にお言葉をいただきました。後半は、音楽演奏の時間となり、日本チェロ協会の方4名の演奏で、いつもと違う音色を楽しみ、時に歌って過ごしました。最後は、今年度入社したスタッフの司会により、社員の感想や言葉を聞き、今年度しいの実社に入社した利用者さんと一緒に手締めでお開きとなりました。

改めて後援会の方をはじめ、皆さんに期待され、支えられてもえぎの会は成り立ち、行政や他の事業所などと協力し、障害者が安心して、目黒区に住み続けられるよう活動していただくことが必要だと感じました。ありがとうございました。

しいの実社 宿泊研修旅行

9月3日から1泊2日で、社員、スタッフ、ボランティアさんを合わせて、総勢78名で白樺湖に行ってきました。

1日目は、「八ヶ岳チーズ工房」に立ち寄り、昼食をいただきました。チーズ工房で作られたチーズケーキも並ぶ、品数豊富なランチに大満足でした。その後、八ヶ岳の山ろくの「道の駅こぶちざわ」に移動しました。心配していた雨に降られることもなく、自然を満喫し、思い思いにお土産を選んだり、おやつを食べたりして楽しむことができました。そして、宿泊場所の白樺リゾート「池の平ホテル」へ到着し、部屋でゆっくりしてから楽しみの一つ温泉で癒されました。



八ヶ岳チーズ工房



大宴会

夜は、お待ちかねの大人数の大宴会で、それは壮観でした。おいしい料理を堪能したあとは、カラオケ・タイムとなりましたが、歌いたい社員が多く、希望通り歌えば、宴会は夜中まで、延々と続くことになるため、1番しか歌わせてもらえません。それでも、自分の番を今か今かと待つ人、待ちきれず舞台上で一緒に歌って踊る人とさまざまに楽しみ、どうしても消化不良の人は2次会で発散しました。

2日目は、近くの「池の平ファミリーランド」へ行き、グループに分かれて行動し、森林鉄道で高原の爽やかな風を感じたり、白樺湖畔

を散策したり、アスレチックに挑戦したりと楽しみました。レストランで昼食を取り、帰路につきました。

パーキングエリアでアイスを食べたり、ジュースを買ったり、旅の終わりを惜しみつつ最後まで楽しんでいました。お腹いっぱい、胸いっぱいの充実した旅行となりました。毎年のご支援をいただいている後援会の皆様に、社員・スタッフ一同お礼申し上げます。ありがとうございました。



自然満載の池の平ファミリーランド

ショップより

秋は、目黒区内のイベントで販売をさせていただきます。皆様のお越しをお待ちしています。

10月 3日(土)	グリーンフェスタ西郷山	就労支援センターカフェ西郷山
10月10~12日(土~月、祝)	女神まつり	自由が丘マリクレーン通り神戸屋前
10月12日(月、祝)	めぐろスポーツまつり	碑文谷体育館
10月24日(土)	めぐろ地域福祉のつどい	中目黒GT広場
10月24日(土)	えのき祭	大橋えのき園
10月25日(日)	中目黒公園祭	中目黒公園
11月 3日(土)	スマプラフェスタ・わっしょい	スマイルプラザ中央町



孀恋野菜のキッシュとカレータルト

学芸大学店では、学芸大学東口商店街恒例の「つま恋あい菜まつり」に参加し、孀恋キャベツのキッシュと孀恋じゃがいものカレータルトが8月28日から9月2日まで1週間の期間限定で店頭に並びました。

イケノウエ・グリーンズ

目黒区目黒本町4-25-19
TEL 03-3715-5466
<http://www.i-greens.jp>

しいの実社から歩いて5分ほど、清水池公園の近くにアジアガーデン「イケノウエ・グリーンズ」さんがあります。生活空間に夢と安らぎを醸し出すこだわりのインドア・アウトドアプランツ、ポットフラワーの寄せ植え、ギフト向け洋蘭、観葉植物などを取り揃え、扱っている専門店です。

お話を伺ったお店の代表の益戸照浩さんが昭和45年に創業し、現在は益戸さんご夫妻と従業員3名で切り盛りしておられます。もえぎの会後援会に平成19年に入会していただきまして、以来長年にわたって支援していただいています。

創業時は今の場所と道路を隔てた反対側の清水池公園の隣にお店がありました。今の場所に移転し、間口の広い白い外壁のお店の天井、壁、床には大小の観葉植物、色とりどりの花の鉢植えが配置され、居るだけでとても癒される空間です。扱っている観葉植物は、常緑樹が多い、暑さ寒さに強い、暗い所でも育つ、



益戸照浩代表



清水池公園向かいのお店

などの特徴を持ち、マンション等、限られた空間でも育て易く鑑賞にも適しています。個々のお客様の環境に適した種類の選び方、毎日の管理の仕方等の相談にも親切に対応して下さるとのことです。お店で一番苦勞するのは、多種多様な観葉植物の毎日の管理、手入れであるとのこと。「ご趣味は何ですか？」の質問に「うーん、観葉植物かな。」とお返事なさるように、一年中不定休のお店での植物との毎日が趣味をも兼ねておられる印象でした。

お店は、清水池公園の池の周りの木立と相まってこのあたり一帯の緑多い憩いの場の雰囲気づくりに一役買っている大切なスポットです。

株式会社 南雲

目黒区中町2-30-13
TEL 03-3716-8656

「南雲さん」と言えば、しいの実社ではなくてはならないお付き合いの包装、梱包資材を取り扱うもえぎの会後援会の法人会員の一社です。お付き合いは、しいの実社がまだ原町保育園の4階で作業をスタートさせた1988年頃からです。実は南雲さんがこの広報誌に登場して下さるのは今回が初めてではありません。先代のお父様にお話を伺ったのが、2007年の第4号発行の時でした。お仕事でしたが、お店でご家族3人の写真撮影に気さくにに応じてくださったのを覚えています。つい昨日のような気がしていましたが、時の流れは早いものです。きれいな白髪が印象的でした先代が3年前に他界され、今は二代目の剛(つよし)社長とお母様で、切り盛りされています。昭和46年に創業され、中町では昭和47年に開店されています。区内や近隣区への配達も絶やすことなく続けていくことはもちろん

油絵に造詣の深い
南雲 剛社長

旧区役所通りのお店

ですが、直接来店して下さるお客様も大切にしたいとおっしゃいます。私たち利用する側も、日々様変わりする街の中で、いつもの場所にいつもの品物があることは地域に安心感を与え、相談にも乗ってもらえる小売りはありがたいと思います。

休日には油絵を本格的に勉強され、展覧会にも出展されています。また将棋歴も長く、集中して取り組まれることが、リフレッシュになり、明日のお仕事に繋がるのだと改めて思いました。

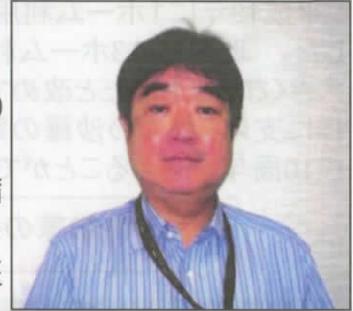
もえぎの会の事業報告会には毎年ご出席いただき、大変感謝しています。これからもよろしくお願ひいたします。

新宿区下落合3-22-23
TEL 03-3953-9909
<http://mejiroh.jp>

医療法人社団悦伝会 目白病院

JR目白駅から目白通り沿いに歩いて5分程の目白病院をお訪ねして、理事長・院長である長谷川雄二先生にお話を伺いました。

長谷川院長は、大学の医学部を卒業後、母校の救命救急センターに10年間在籍なされた後、平成9年に医療法人の目白病院を開業されました。現在福生市にある目白第二病院と併せて職員500名体制で「急性期病院」として活動しておられます。いわゆる救急指定病院の中でも、緊急・重症な状態にある患者に対して入院・手術・検査など高度で専門的な医療を提供するとても大切な役割です。



長谷川雄二理事長・院長

昨今、救急指定病院で、救急車で搬送困難(いわゆる‘たらい廻し’現象)が問題になっています。東京都ではその対策として「救急医療の東京ルール」の仕組みを立ち上げ、目白病院は新宿、中野、杉並の3区の医療圏域に定められた地域救急医療センターとして、救急患者さんを積極的に24時間体制で受け入れ、できる限りの最善の対応をしておられます。

「よく皆さんは、24時間体制でさぞ大変でしょう、と言ってくれるが、それは承知でやっています。自分が役に立てれば嬉しいという思いです。」との頼もしいお言葉です。

もえぎの会の後援会には、家族会員の紹介で入会していただきました。「近隣にも福祉施設が多くあり、日々来院される方もあるので何か応援できれば、と思っていました。」との嬉しいお言葉です。そのほか救急の妊婦さん、一人暮らしのお年寄り、外国人など様々な来院者があるようですが、



「断らない医療」の目白病院

「どんな人も分け隔てなく診ようとする医師の人間性が一番大切です。」とはっきり言い切っておられました。「断らない救急」の最前線で日々ご活躍の長谷川院長ですが、趣味の読書を楽しむお時間が少しでも多くありますように、と心から念願していま



患者様の初期対応の部屋

す。もえぎの会をこれからもよろしく願っています。

新規後援会員をご紹介ください

年会費 1口1,000円 個人会員 1口以上、 法人会員 10口以上

会費はお手数ですが、直接お持ち頂くか、下記口座へお振込みください。

郵便振込口座 00130-5-667751

口座名義 もえぎの会后援会

問い合わせ先 もえぎの会后援会事務局(電話:03-5724-7153)

* 恐れ入りますが振り込み手数料はご負担願います。

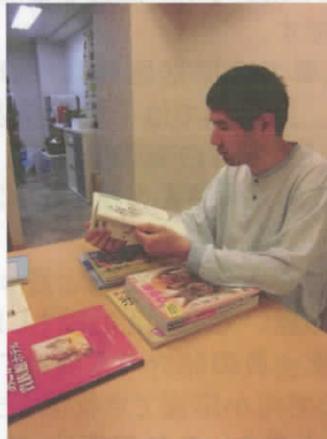
沙羅の家

10年目に入りました

世話人 長谷茂雄

平成18年に1ホーム利用者4名から始まった沙羅の家ですが、今年の8月で10年目に突入しました。現在では3ホーム利用者15名になり、あっという間に過ぎたと感じる一方で、よくここまで大きくなったものと改めて感慨深いです。町会をはじめ地域の方々や利用者のご家族の皆様に支えられての沙羅の家ですので、これからも皆様への感謝を忘れずに、来年は素敵な開設10周年を迎えることができるようにまい進していきたいと思ひます。

沙羅の家の生活風景 みんなでお出かけ 好きな読書 楽しい食事



碑文谷八幡宮例大祭

清水町会へのご挨拶と南一丁目町会のお神輿

毎年恒例となりました碑文谷八幡宮例大祭に参加させていただきました。9月12日にしいの実社のある清水町会にご挨拶に伺いました。そして、その夜、南一丁目町会のお神輿を今年も担がせていただきました。シルバーウィーク初日ということでしたが、今年は沙羅の家の利用者だけではなく南に住んでいるしいの実社の社員も一緒に加わり、大いに盛り上がりました。また今年はいこれまで参加したことのないスタッフにも参加してもらったことで、地域の方々との交流の新たな機会になりました。



清水町会 今井会長、林副会長と一緒に

南一丁目町会神輿



編集後記

これから、秋本番。しいの実祭など大きな行事の準備が始まります。地域や後援会の皆様のお力添えを頂きながら進んでいきたいと思ひます。(岡田)

発行：社会福祉法人もえぎの会
住所：目黒区目黒本町2-7-3
(法人本部) 電話：03-5724-7153
e-mail：shii-nomisha@abeam.ocn.ne.jp
<http://www.moeginokai.jp/>

